熊谷市
記者クラブ取材情報

令和3年10月22日発表
担当課：熊谷市教育委員会
社会教育課

タイトル

令和3年度　熊谷市文化功労者・教育特別賞・教育関係職員表彰式

1．日時　令和３年１１月３日（水・祝日）　１０時００分　開式

2．場所　熊谷市立大里生涯学習センター　あすねっと

3．事業概要

＜事業内容＞
【式典】
・文化功労者３名　門平　忠一郎　氏（学校教育　７７歳）
　金子　貞雄　氏（文化　８０歳）
　関根　恒喜　氏（体育　７２歳）
・教育特別賞（ムサシトミヨの保護活動）３校　佐谷田小学校
　久下小学校
　熊谷東中学校
・教育関係職員表彰者１０名（学校教職員６名、学校医４名）

＜目的＞
・文化功労者：教育・学術・文化・体育の振興について特に功績が顕著である方を表彰する。
・教育特別賞：特に表彰にあたいすると認められるもの。
・教育関係職員表彰：熊谷市内在勤１５年以上で勤務成績が良好である者を表彰する。

＜影響・効果＞
文化芸術及び教育活動を行っている方々の励みになり、各分野の振興に資することになる。

4．特徴やPRポイント

・令和３年度は、長年（３０年以上）、ムサシトミヨの保護活動に取り組んできた佐谷田小学校、久下小学校、熊谷東中学校の３校が表彰されます。

5．その他

＜主催者＞
熊谷市教育委員会
代表者　野原　晃
＜連絡先＞
０４８－５２４－１１１１　内線（３９４）

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　熊谷市教育委員会社会教育課　茂木
連絡先　ＴＥＬ　０４８－５２４－１１１１内線（３９４）shakaikyoiku@city.kumagaya.lg.jp□



熊谷市文化功労者

門平（かどひら）　忠一郎（ちゅういちろう）　氏　（７７歳）

熊谷市筑波

氏は、３９年の長きにわたり、市内小・中学校の学校歯科医として、定期健康診断、健康相談、生活指導等を通じ、専門的な立場から適切な助言や指導を行い、児童・生徒及び教職員の歯と口の健康保持・増進に尽力されました。

平成１０年には熊谷市学校保健会の副会長に就任し、会の円滑な運営に努め、学校保健活動の充実、発展に寄与されました。

また、熊谷市歯科医師会の要職を歴任し、卓越した学識経験を発揮し、地域歯科医療の整備と充実を図るほか、熊谷市障害者計画策定審議会委員、大里広域市町村圏組合介護認定審査会委員など多くの公職を歴任され、地域社会の健全なる発展と公衆衛生の向上、社会福祉の増進に寄与されました。

さらに、長年にわたり、本市の休日・夜間急患診療所の協力医として、本市の救急医療体制の確立に貢献されていますとともに、母子健康保健事業の協力医として、乳幼児健診に執務し、乳幼児期の歯科疾病の早期発見と発症予防の指導助言に努めるなど、市民の生涯にわたる生活の質の向上と健康保持に向け歯科衛生の推進に尽力されています。

このように児童、生徒及び地域住民の健康増進のため、本市の歯科医療、保健の充実及び発展に大きく貢献された功績は、誠に顕著であります。



熊谷市文化功労者

金子貞雄（かねこさだお）　氏　（８０歳）

熊谷市上奈良

氏は、長年にわたり短歌の精進を重ね、埼玉県歌人会や熊谷市文化連合をはじめ、文芸に関する多数の組織に所属し要職を歴任するとともに、自らも数々の文芸団体の設立を主導し後進の指導に尽力されるなど、広く文化の振興に貢献されています。

平成２０年には、熊谷短歌会を設立し会長に就任し、同年に、春秋年２回の公募による市民短歌大会を開催し、市民が自ら文学創作活動に参加しやすい機会づくりに尽力されました。令和２年には埼玉県歌人会と合同の短歌大会を熊谷市で開催し、市外の方々との交流を積極的に進めるなど、本市を中心とした文芸活動の普及、向上に尽力されています。

また、熊谷市文化連合では、氏の発案により「文化の出前事業」を立ち上げ、市民の側に出向き芸術文化に触れる機会を提供することで、多くの市民が優れた文化に触れる喜びや文化的な生活を楽しむための支援に寄与しております。

さらに、氏は、市内外の小・中学校において、「短歌のふれあい体験授業」を行うなど、次世代育成及び文化創作活動の普及・継承にも多大な貢献をされています。

このように、文芸界をけん引し、大所高所からの指導や地域・市民に密着した活動を通して、幅広い文化芸術の発展、普及、継承に多大なる貢献をされてきた功績は誠に顕著であります。



熊谷市文化功労者

関根恒喜（せきねつねよし）氏（７２歳）

熊谷市平戸

氏は、競技者としての経験をいかし、半世紀にわたり、熊谷市陸上競技協会の役員として、本市の各種陸上競技大会の運営や後進の指導育成に貢献されています。

熊谷さくらマラソン大会では、平成２年２月の第１回大会から運営に携わり、競技委員会委員長等を歴任し、参加者に信頼される大会を目指し運営方法の改善を重ね、全国ランニング大会１００撰に選ばれる全国的な大会へ発展させました。

熊谷市スポーツ教室では､平成１０年から陸上競技教室において、子供たちの陸上競技の基本技術向上、体力向上、健全育成を図りながら、陸上競技の楽しさを教え続けるとともに、未来のアスリート育成を見据え、小・中学生を対象に「熊陸ジュニアハイスクール陸上教室」を企画し、種目別の実技講習を行うなど、児童・生徒の陸上競技技術の向上に大いに寄与されています。

さらに、熊谷市スポーツ協会の要職を歴任するとともに、スポーツ推進委員及びスポーツレクリエーション指導者バンク運営委員として、市民の体力づくり、生涯スポーツの普及振興に尽力されるほか、日本陸上競技連盟主催の公認大会に審判長や主任審判等として参加し、数々の大会の効率的な運営に貢献されています。

このように、広くスポーツの振興、発展に尽力し、市民の健康や生きがい、豊かさを実感できる社会の構築に寄与された功績は誠に顕著であります。

熊谷市教育特別賞

熊谷市立佐谷田小学校
久下小学校
熊谷東中学校

佐谷田小学校、久下小学校、熊谷東中学校の３校は、昭和５９年にムサシトミヨ生息地が市の天然記念物に指定されたことを受け、県や市、地元保護団体と協力・連携しながら、ムサシトミヨの保護繁殖活動を３０年以上の長きにわたり継続して取り組んでいます。

３校では、学校敷地内の繁殖池において、児童生徒自らが、日々、ムサシトミヨを観察し、繁殖調査を実施することを通して、世界に誇れる貴重なムサシトミヨの生態を実感をもって研究しています。

平成２５年度からは、３校での取組や研究成果を、「ムサシトミヨ繁殖報告会」において発表し、児童生徒に対してだけでなく、広く市民に対し、ムサシトミヨが貴重な魚であること、自然保護が大切であることを啓発しています。

さらに、３校はそれぞれ、県外における様々な大会へ参加し、ムサシトミヨ生息地の保全活動や保護繁殖活動を情報発信することで、本市の環境保護の取組を全国に広めることに大いに貢献されています。そして、これらの活動は、平成１５年に「日本水大賞」の大賞を、平成２５年に「さいたま環境賞」を、令和元年に「埼玉・教育ふれあい賞」を受賞するなど、全国的にも高く評価されています。

このように、児童生徒を主体とした活動により、世界に誇れる貴重な自然遺産を未来に残していくことに貢献している３校の功績は誠に顕著であります。